

## 東松島市立赤井南小学校

2014年 12月 14日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)

北林 雅洋(香川大学教育学部)

### 【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館・図書館・文書館・公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 『2万5千分1 浸水範囲概況図 宮城県』国土交通省国土地理院 <http://www.ssi.go.jp/kikaku/kikaku40017.html>

### 【場所】

海岸から約3km、定川から約250mの位置にある。

住所:宮城県東松島市赤井川前一107



### 【東日本大震災による被害】

校舎の1階が津波により浸水、また体育館は床下浸水。(1)

### 【震災当日の様子】

地域の避難所に指定されていたため、地域住民が避難しており、200人ほどが孤立していたという証言が当時のブログやツイッターなどで見られる。

津波で浸水した地域にあるため、校舎または体育館に避難したと考えられる。(2)

### 【調査して言えること】

海から約3km離れているが、川が近く標高が約1mしか無いため、地震の際に津波を警戒する必要のある学校である。周囲に高台や高い建物は無く、学校外への避難は難しい。また、今回の津波で浸水していない地域まで1.6kmほど離れている。



北から見た学校(2014/11/1撮影)



北から見た体育館(2014/11/1撮影)